

鈴木文史郎 （おんきん） 新聞記者、評論家。明治二十二年二月十九日千葉縣生れ、昭和二十八年二月二十一日歿（一九九〇—一九五二）。本名又四郎。別號又史樓、聞詩樓、雙葉舎。大正二年東京外國語學校英語學科卒。大正八年東京朝日新聞社入社、歐米特派員、社會部長、論說委員等を経て昭和十五年取締役、二十年退社。翌年コリィダーズ・ダイジェスト『日本版縮輯長』、二十四年同日本支社長、翌年參議院議員。この間日本放送協會理事、全國出版協會會長など。

著譯書『東西話行』（大正十五年八月十一日日本評論社）、『旅風』

（共作、大正十五年十一月、二十八日

東京朝日新聞發行所）、『新聞記者

打明け話』（合著、大阪朝日新聞社

整理部編、昭和二年四月十七日世界

社）、『婦人問題の話』（本名、昭

和四年八月一日朝日新聞社「朝日帝

識講座」）、『空の旅・地の旅』（昭和四年十一月五日新潮社）、『新

聞雑誌記者を志す人のための』（昭和八年二月十五日現人社「現代職

業ガイド・ブックス」）、『心を打つもの』（昭和十年七月十日三省

堂）、『武漢攻略の從軍』（合著、昭和十一年十一月十七日朝日

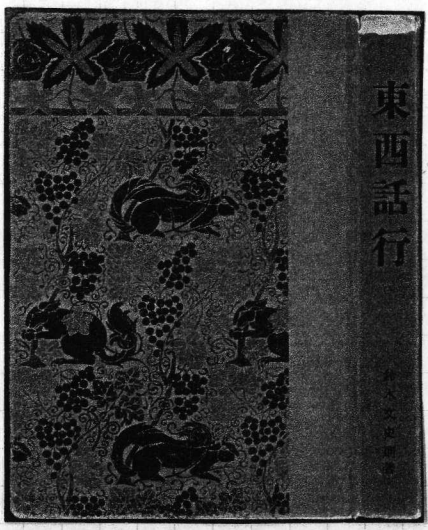
新聞社）、『米歐變遷記』（昭和十八年五月十五日全國書房）、『シヨ

ン・ドリンクウォーター作・戯曲『エーブラハム・リンカーン』（譯、

昭和二十一年二月十五日吉田書房）、『靜動雜誌』（昭和二十二年九

月十日一洋社）、『文史朗讀筆』（昭和二十二年十月、二十日中央公論

社）、『戦後のアメリカ第一信』（昭和二十二年十一月十五日大日本



東西話行

雄辯會講談社）、ロジャーナリズム批判』（昭和二十四年七月）二十五

白話文堂「アチネ本文庫」）等。